

2024年12月19日

各 位

会 社 名 カルナバイオサイエンス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 吉野 公一郎
 (コード番号：4572)
 問合せ先 取締役経営管理本部長 山本 詠美
 (TEL：078-302-7075)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2024年2月9日に公表した2024年12月期通期（2024年1月1日～2024年12月31日）の連結業績予想を、下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正内容

2024年12月期通期業績予想の修正の内容（2024年1月1日～2024年12月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回公表予想 (A)	925	△2,201	△2,208	△2,225	△129.81円
今回修正予想 (B)	630	△2,153	△2,168	△2,180	△121.77円
増減額 (B-A)	△295	47	40	44	
増減率 (%)	△31.9%	—	—	—	
(参考) 前期(2023年12月期)実績	1,625	△1,116	△1,126	△1,152	△68.62円

2. 業績予想修正の理由

創薬支援事業における売上並びに研究開発費のうち臨床開発関連費用が、予想を下回る見込みとなりました。

創薬支援事業売上については、国内において前年と同水準で推移しているものの、米国及び欧州において、大口顧客の研究テーマやプロジェクトの進展に伴い、キナーゼタンパク質を中心に需要が大幅に減少しました。さらに、中国においては、経済低迷や米国による中国バイオ企業との取引制限の影響を受けCRO向けの売上が低調に推移しました。

研究開発費については、臨床開発関連費用における治験費用の来期へのずれ込み、外注の効率化による費用削減等により、1,965百万円（前回公表予想比343百万円減、同14.9%減）となる見込みです。

以上の結果、売上高は630百万円（前回公表予想比31.9%減）、営業損失は2,153百万円（前回公表予想比47百万円の損失縮小）、経常損失は2,168百万円（前回公表予想比40百万円の損失縮小）、親会社株主に帰属する当期純損失は2,180百万円（前回公表予想比44百万円の損失縮小）となる見込みです。

※本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び本資料の発表日現在において合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上